

まちのできごと

夫婦仲良く50年



手をつなぎ夫婦仲良く三献の儀へ向かいます。



楽しい時間が流れ、ハンヤのリズムに自然と体も踊りだします。

10月28日、田代開発センターにおいて錦江町合同金婚式が盛大に開催されました。

金婚式とは、結婚50年のご夫婦を対象に行われるもので錦江町内では64組のご夫婦が対象で、当日は45組が出席されました。

式では、式辞、記念品贈呈などが行われた後に、三献の儀が行われ50年ぶりの三三九度を感慨深げにうけていらっしゃいました。また、乾杯の後に開かれた祝宴では踊りや民謡などを観覧しながら食事やお酒を楽しんでいました。なかには、ハンヤ節のリズムに踊りだす女性の姿も見られ、祝宴に華を添えていました。

金婚式に出席された大山浩・久代ご夫妻（本町自治会）は「夫婦仲良く、喧嘩もしながら皆さんに支えられて50年経ちました。振り返ればあっという間の50年でした。今度はダイヤモンド婚（結婚60周年）目指して夫婦仲良く頑張ります。」と話されました。

また、鶴園實・智子ご夫妻（鶴園自治会）は、「このような素晴らしい日を迎えられて喜びでいっぱいです。これも皆さんのおかげと感謝しています。これからも夫婦ともども頑張っていますので、これからもよろしくお祈りします。」と話されました。

会場ではあちらこちらで夫婦仲むつまじい姿が見られ、そこには理想の夫婦像があるように感じられました。

これからも夫婦仲良く元気で過ごされることをお祈りします。

魚はやっぱりおいしい！



漁業組合の方に手ほどきを受けながら魚料理に挑戦する子供たち

11月24日と26日に漁民研修センターにおいて、町内の小学6年生（一部5年生を含む）を対象に「お魚料理教室」が開催されました。

これは、子どもたちに本町の漁業を知ってもらい、またお魚料理に親しんでもらおうと毎年行われており、今年で11回目を数え魚食普及に一役買っています。

当日は、漁協婦人部の方々にお手伝いいただきながらカンパチの刺身、カンパチしゃぶしゃぶ、さつま揚げを作りました。子どもたちは、慣れない手つきで魚と格闘(?)しながらも楽しそうに調理していました。

出来上がった料理をみんなおいしそうに頬張る姿がとても印象的でした。

上鶴佳奈さん（神川小6年）は「魚をさばくのは見たことあるけど自分でさばくのは初めてでとてもいい勉強になりました。」と話してくれました。

また、当日は、漁協組合や大隅地域振興局との意見交換会もあり錦江湾の現状や漁業、藻場造成などについて学び、錦江湾の資源や海の大切さを再認識した大変いい機会になったようです。

これからの寒い季節、皆さんもカンパチしゃぶしゃぶで暖まってみてはいかがでしょうか。